



ハザードマップ

津波編

この地図は、愛知県への影響が大きいと想定される地震ケース(複数)で発生する津波を想定し、浸水シミュレーションの結果より最大となる浸水域・浸水深を抽出し表示したものです。

【避難所の敷地の一部が浸水する可能性がある指定避難所】
瑞穂記念館

なお、避難の際は、避難所の開設状況を市ホームページなどで確認してください。
※津波編の最終ページ(75ページ)に補足説明があります。

ステップ
1

津波の危険性を知る

自分の位置を詳細地図 (P65~74) で確認してください

※自宅だけでなく、職場、学校、親せきの家なども確認しておいてください。

そこは「避難対象地域[※]」の中ですか

※避難対象地域:津波が発生した場合に避難が必要な地域で、愛知県が公表した津波浸水想定に基づき住民等がワークショップにて設定し、市が指定した地域です。安全性の確保、円滑な避難等を考慮して、津波浸水想定区域よりも広い範囲で指定しています。

いいえ

その場で安全確保

はい

強い揺れを感じたとき、
弱い地震でも長い時間ゆっくりとした揺れを感じたとき、
警報や避難情報等が発表されているときには、
すぐに避難行動をとってください

避難先

津波避難では、時間と余力のある限り、より安全な場所を目指す

津波一時避難場所

避難対象地域から避難した後、余力のある場合に目指す場所
(広域・応急避難場所)

避難目標地点

津波の危険がある避難対象地域から避難する際に目指す場所

緊急避難場所

津波の危険から緊急に避難するための高台や施設

自分が歩いて逃げられる避難先を何か所か考えましょう

※とにかく避難対象地域の外へ避難することを目指してください。

ステップ
2

ステップ
2

避難先の決定と避難経路の安全確認

ステップ1で考えた避難先を確認しましょう

避難先までの経路を確認しましょう

避難経路は「津波避難計画」を参考に
それぞれに合った複数の避難経路を検討してください。



半田市 津波高潮避難計画 検索



- 自らできる限り迅速に、高く安全な場所をめざす。
- 避難対象地域の外に最も安全かつ早く避難できる、目標地点(避難目標地点)への最短コースを避ける。
- 避難対象地域の外へ避難した後、余力のある場合は、さらに津波一時避難場所へ向かって避難する。
- 津波の浸水方向には向かわない。
- 河川に沿った避難は避ける。
- 原則、徒歩による避難とする。

各項目を確認!

あなたが逃げる避難先を書きましょう

	(避難にかかる時間*)
津波一時避難場所	() 分
避難目標地点	() 分
緊急避難場所	() 分

※時間の目安は、詳細地図の右下に示しています。

ステップ
3

ステップ
3

避難を始めるタイミングを考える

災害時には、第2章の「情報収集手段(P3)」を参考に最新の情報を入手して、安全に避難するために活用してください。市から避難情報が発表されるまでに災害が起こることもあります。地震情報や周りの状況等に注意し、危険を感じたらすぐに命を守る行動をとりましょう。

津波避難行動

大地震
が発生

津波避難のポイント

避難対象地域にお住まいの方は、
下の流れに沿ってすぐに避難しましょう。

ステップ
1

まずは 身の安全を守る

強い揺れを感じたり、弱い地震でも長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時はまず、身の安全を守りましょう。

大津波警報発表

テレビ、ラジオ、屋外拡声スピーカーなどでお知らせします。

ステップ
2

すぐに 避難の準備を

自宅に いる場合

- ガスの元栓を閉める。
- 電気のブレーカーを切る。
- 家族や隣近所に声をかける。
- 非常持出品を携行する。

屋外などに いる場合

- 周りにいる人と状況を
確認しあう。
- 近くの住人に助けを求めろ。

ステップ
3

すぐに あわてず避難の開始

ステップ1で考えた 避難先を目指して

津波からの避難の原則は「時間と余力のある限り安全な場所をめざす」です。余裕のない場合は近くの高台や緊急避難場所に避難しましょう！

徒歩で避難を

原則として、車で避難するのはやめましょう。車での避難は渋滞を引き起こし、かえって避難の妨げになります。

海岸や川沿いには近づかない

地震の後は、護岸や堤防が被害を受けている可能性があり非常に危険です。決して近寄らないようにしましょう。

寄り道はしない

津波からの避難は一刻を争います。家のことを心配して引き返したり、貴重品などを取りに戻ったりせず、まっすぐ避難先へ向かいましょう。

！ 緊急避難場所への避難について

緊急避難場所は、あくまでも一時的な避難施設なので、物資などの備蓄はありません。津波の到達後、緊急避難場所の周辺が長期間にわたって水に浸かり、孤立する恐れがあります。できるだけ津波の避難対象地域外へ避難しましょう。

ステップ
4

確実に 避難の完了

正しい情報の入手

テレビやラジオ、屋外拡声スピーカーなどで正しい情報を入手し、次の行動に備えましょう。

！ 津波が迫ってきたら少しでも高い所へ

避難が完了する前に津波が迫ってきたら、すぐに周囲の高い所へ避難しましょう。少しでも高い所へ避難すれば、その分、命が助かる可能性が高くなります。

ステップ
5

落ち着いて 避難の継続

津波到達

！ 安全が確認されるまで避難を継続する

津波は繰り返し押し寄せてきます。水が引いても、津波の警報や注意報、避難指示が解除されるまでは安全な場所で避難を継続しましょう。

！ ステップ1からステップ3
で確認したことを、この
ページに整理しましょう。

わたしたちの 災害への備え

津波が発生した場合に、わたしの場所は

避難対象地域の中に (ひなんたいしやうちいき あります ・ ありません)

- 津波の恐れがある時は避難目標地点へ。
ひなんもくひやうちてん
- その後、余力のある場合は津波一時避難場所へ逃げます。
つなみいちじひなんばしょ
- 避難をするための時間が無く、緊急的に避難する場合は緊急避難場所へ逃げます。
きんきゆうひなんばしょ

原則、 徒歩による 避難

	(避難にかかる時間*)
津波一時避難場所	(分)
避難目標地点	(分)
緊急避難場所	(分)

津波避難では、時間と余裕のある限り、
安全な場所を目指しましょう。

※時間の目安は、詳細地図の右下に示しています。

！ このページを、写真に撮った
りコピーするなどして、家族
全員がいつでも確認できる
ようにしておきましょう。